



※全市版 6～7 ページもご覧ください。

南区で 市長と話そう！

～「ふらっとホーム 2012 in 南区」を開催しました～

さまざまな年齢、性別、職業の市民が「ふらっと気楽に」「アットホーム」な雰囲気ですら市長と意見交換して、市政や市長を身近に感じてもらうと開かれている「ふらっとホーム」。市内各区で年1回行われており、南区でも昨年11月に開催しました。

今回は、「ふらっとホーム 2012 in 南区」で、参加者と市長が対話した内容の一部を紹介します。

この特集のお問い合わせ先：総務企画課広聴係 ☎ 582-4714

<南区での実施状況>

日	時	場 所	参加者数
平成24年11月8日（木）	18時30分～20時30分	南区民センター	5人

経済の活性化



野口さん：デザインというのは、物を視覚的にわかりやすく伝えることができるものです。札幌で、デザインと商品とが結びつく仕組みが作られ、いろいろな商品情報が分かる場ができれば、商品に対する需要がさらに高まっていくと思います。

上田市長：似た商品が並んでいる中から手に取ってもらうためには、視覚的にぱっと訴える力があるパッケージが大事です。消費者に買ってもらうためのその商品なので、デザインは買ってもらうために発信する情報の一番大事な部分だと思います。

みどり



山遠さん：観光地としての札幌をもっとPRするために、行楽地や観光施設に向かう国道沿いに花をもっとたくさん、きれいに植えると、観光客にも喜んでもらえて、札幌へのリピーターも増えるのではないのでしょうか。

上田市長：夏になると、芸術の森へ向かう道では、町内会の方々が植えた花が色鮮やかに咲く光景が見られます。このように、自分たちのまちをきれいにしていこうという思いが、まちづくりをよい方向に導いているのだと思います。

